



目 次

	頁
・東日本大震災に思う	同窓会会長 濱田 豊機 (1)
・同窓会の広がり	学 校 長 阪田 俊晃 (2)
・母校への思い	教 頭 齋藤 公譽 (3)
・母校部活動活躍状況	(4)
・叙勲受章者の紹介	(5)
・同窓会開催報告	(6)
・同窓会活動報告	(12)
・PTA会長より	(13)
・HP紹介	(14)
・同窓生便り	(15)
・同窓生近況報告	(17)
・母校・同窓会のあゆみ(年表)	(23)
・会計報告	(25)
・同窓会規約	(25)
・役員・評議員一覧	(27)
・各委員会からのお知らせ	(29)



東日本大震災に思う

同窓会会長 濱田豊機

二〇一一年は私たち日本人にとつては忘れられない年となり、歴史に永く語り継がれることになるでしょう。三月十一日に起きた一〇〇〇年に一度といわれる大地震とそれによる大津波に加えて原子力発電所の損壊による広範囲且つ超長期にわたる放射能汚染により、東日本地域の多くの人々が膨大な被害を受け、死者・行方不明者が二万人にのぼる大惨事となりました。十六年前の阪神淡路大震災を経験した私たちには被災者の悲しみや苦しみが痛い程解る。全国の多くの人々がボランティアで被災者への救済や復旧・復興支援をと全力で頑張っており、世界各国からも支援の手が差し伸べられているが、被災者が本当に必要としていることにはタイムリーに応えられていないように感じると同時に、また、遅々として進まない救済・復旧・復興作業にもどかしさを感じると同時に、私たちの無力さも身にしみて悲しい、救済・復旧・復興に関して、何を何時どうすれば良いのかが纏まらない政府の動きにもじれったく思う。

対応策がいろいろと論じられている中で、私の考えていることには次のようなものがある。例えば

(1) 原子力発電の廃止論が台頭しているが、短絡的に「あつものに懲りてなますをふく」ようなことで良いのだろうか。現代の経済社会におけるエネルギー政策の根幹にかかわることであり、慎重に調査検討し、本当に良い正しい答えを見出す必要があると思う。世界でも例を見ない今回の経験を生かし絶対的に安全・安心な新技術と施工技術を研究・開発して行くことが重要なのではないだろうか。そうすれば、日本は原子力発電の面で世界のトップに躍り出ることができ、また、国内のみならず世界に貢献でき、世界中から高い評価を得る絶好のチャンスでもあると考える。

(2) また、経済政策においても、震災復興需要を牽引車として、飛躍的に経済成長をさせるチャンスでもある。阪神淡路大震災の時に、兵庫・長田地区の一銀行が国籍を問わず地域住民に必要経費を無担保で貸し付けを行い、非常に感謝され、しかも後日ほぼ全額が返済されたことがあります。このようなことを民間ではなく、国家政府と日本銀行がその権限と信用でもって経済

システムを活用して行えば、人々は力を合わせて政府の施策に誠意をもって応えるでしょう。

例えば、被災地域限定で被災者の必要資金を民間に替わって国家政府が民間金融機関を通して貸し付ける、また、旧来からの被災者の借金も民間金融機関から国家政府が肩代わり（付け替えることを）し、日本銀行が資金供給を行うことにするのです。そうすることにより、①民間金融機関の二重ローン問題も解消し②民間による救済・復旧・復興事業が進み、③他地域にも経済効果が波及し、④より多くの資金が市場に回ることににより、円高から円安に進み、⑤産業全体が活性化し、経済成長が進み、それにつれて⑥政府の税収も増加に転じ、⑦福祉の向上に伴い少子化問題も解消に向かう、⑧すなわち国家政府が債権者になることにより、国債残高も（債権額を差し引くことにより）減少し、国家財政の改善に繋がります。

⑨日本経済と国債の国際信用度も高くなると考える、⑩このような金融政策によりインフレが起こるとの反対論も出るでしょうが、国民にとつて、デフレ経済下でもインフレ経済下でも生活が苦しい状態に変わりはなく、国民に諸問題解決への糸口と希望が見える方がよほど良いと考えています。

議員をはじめ国家政府や地方行政の人々が早急に対応することを大いに期待したい。



同窓会の広がり

学校長 阪田俊晃

本年度も「責任 健康 友愛」を教育目標に日々の教育活動に取り組んでおります。一学期は、三学年それぞれ野外活動や修学旅行を無事終了することができました。一年生六十五回生は神戸市立六甲自然の家で一泊二日を、二年生六十四回生は国立若狭湾青少年自然の家で二泊三日の野外活動を実施しました。六十三回生の修学旅行は、長崎市での平和学習と長崎県松浦市での民泊による自然体験を行いました。いずれの行事も多くの成果を得ることができましたし、施設の方やバス会社の方から、「四月から来た学校の中で礼儀や集団としての行動が一番優秀だ」とお褒めの言葉をたくさんいただきました。これらのことは、卒業生の方々が長年築いてこられた伝統を受け継いだものだと思います。その中で同窓会の広

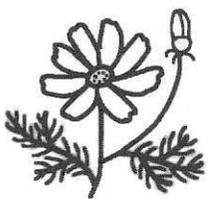
がりということを感じたのは、長崎市の平和公園で偶然に本校の同窓生と出会えたことです。その方とは本校の引率教員がお話させていただいたのですが、平和公園でのセレモニーや行動を見られて大変褒めていただいたということです。神戸から遠く離れた長崎の地で同窓生にお会いするとは、何かのご縁を感じるとともに同窓会の広がりを実感することができました。

文化部や運動部の部活動でも生徒たちは頑張っております。コンクールや市民大会、垂水区大会、神戸市総体などで日ごろの成果を出すことができましたし、結果には繋がらなくても日々の活動を通して得ることのできるものは多いと思います。運動部の試合を見に参りますと応援に来られている保護者の方と話す機会

がありますが、その中には必ず同窓生の方がおられます。また、引率をして来られる他校の顧問の先生方の中にも同窓生がおられます。このようなところにも同窓会の広がりを感じることができま

す。本年度の生徒数は、一年生が二三五名、二年生が一九九名、三年生が二二二名の合計六六六名です。来年の四月には二二二名の同窓会の広がりができ、本校を支えていただく輪が大きくなっていきます。これからも同窓会の皆様の母校に対する温かい想いを感じながら、伝統を受け継ぎ、新たな教育活動に邁進してまいります。今後ともご支援・ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓会のご発展と会員の皆様のご健勝を心よりお祈りいたしております。





母校への思い

教頭 齋藤 公 譽

「桜の学校公開」が四月二日（土）、

せん。

が、次の世代に確実に受け継がれている。それが伝統となつて歌敷山中学校の生徒であるという誇りとなり、あいさつをはじめとする生活規範に結びついているのではないかと思います。

三日（日）に催され、三日には同窓会の「ホームカミングデー」が開催されました。四月に着任早々で要領もわからない中、同窓会の方々がテキパキと準備をされる姿を見て、ただただ感心するばかりでした。今年は、あいにく

二回生の方でお孫さんも伴って、来校された方がいました。父が、以前PTAの役員をしていた当時に植樹した桜を見に来させていただきました。苗木であった桜が、今では巨木となり、

これからも母校を温かく見守っていただき、生徒たちを支えてくださるようご支援をお願いします。

桜の開花が遅く、一〜二分咲きでまだ肌寒さも残る中でした。母校に足を運んでこられる同窓会の方々の年齢層も幅が広く、地域の方々とともに午後からのブラスバンド部の演奏を楽しんでいただけたかと思えます。出来れば満開の桜の中で行われたらどれほどすばらしかったかと心残りでしたかあります

凛として立っている。その桜の根元に、父の遺影とお酒を手向けられ、合唱する姿に脈々と受け継がれている歴史を感じました。また、今春退職されて母校のために何かお役に立てることがあればとボランティアで車いすの生徒の介助をして下さる同窓生の方々がいらっしやいます。このように、歌敷山のこの地を愛し、母校を愛する気持ち



母校部活動活躍状況

平成二十二年十二月から二十三年夏の大会までの顕著な成績を紹介いたします。同窓会からは祝福と激励をいただいております。感謝とお礼を申し上げます。

水泳部

七月 神戸市総合体育大会

男子総合二位・男女総合二位

〈男子〉

四〇〇mメドレーリレー 二位

二〇〇m自由形 一位

四〇〇m自由形 二位

一五〇〇m自由形 二位

一〇〇m自由形 三位

四〇〇mフリーリレー 二位

〈女子〉

四〇〇m自由形 一位

八〇〇m自由形 一位

七月 兵庫県中学校総合体育大会

一〇〇m自由形 六位

近畿大会出場

八月 第六十一回神戸市中学校水泳競技大会(学年別)

〈男子〉

総合第二位

一年…一位 二年…二位 三年…三位

四〇〇mリレー

二年…三位 一年…一位

四〇〇mメドレーリレー

三年…二位 二年…二位 一年…一位

五〇〇m自由形 二年…一位

一〇〇m自由形 二年…一位

四〇〇m自由形 一年…一位 三位

一〇〇mバタフライ 一年…一位

〈女子〉

四〇〇m自由形 二年…一位

二〇〇m個人メドレー 一年…二位

第47回兵庫県中学校学年別水泳競技大会

一年男子 四〇〇m自由形 三位

二年男子 一〇〇m自由形 一位

二年女子 四〇〇m自由形 三位

一年女子 二〇〇m個人メドレー 三位

神戸市総合体育大会 水泳競技の部

一年男子 一〇〇m自由形 一位

サッカー部

五月 神戸市民大会 準優勝

七月 神戸市総合体育大会 三位

九月 神戸市中学校U14ミニサッカー交流大会

優勝

第四十五回兵庫県中学校サッカー選手権大会(高円宮杯)

神戸市予選

優勝(県大会出場 九月二十五日)

野球部

十月 神戸市秋季野球大会 三位

三月 全日本少年軟式野球大会

神戸大会 三位

八月 西区垂水区中学校夏野球大会 三位

卓球部

十一月 神戸市新人大会

男子団体三位

県新人大会出場

十二月 兵庫県新人大会

男子団体二位

男子ダブルス優勝

四月 神戸市民大会

団体 男子準優勝

五月 加古川近郊大会

七月 神戸市総合体育大会

団体 男子準優勝

県大会出場

七月 兵庫県総合体育大会

団体 ベスト八進出

バレーボール部

一月 神戸市優勝大会 三位

県大会出場

放送部

一月 あじさいコンサートで

アナウンス担当

七月 全国中学校放送コンテスト

兵庫県大会 朗読部門優良賞

全国大会エントリー

サマーストーリー賞 二年

吹奏楽部

十一月 舞子公園グランドオープン

記念フェスティバル出演

七月 神戸市吹奏楽コンクール 金賞

柔道(拠点校部活)

四月 神戸市民大会 女子個人 三位



叙勲受章者の紹介

二〇一一年春の叙勲 旭日大綬章

六回生 今井 功氏



歌中六回生（昭和三〇年卒）の今井功氏が、平成二十三年春の叙勲で、旭日大綬章を受章されました。最高裁判所判事を務めるなど、司法の分野での多大の功績が評価されたものです。

今井氏は、兵庫県立星陵高校、京都大学法学部卒業後、司法修習生となり、昭和三九年東京地裁判事補を皮切りに、函館地裁判事補、最高裁調査官、最高裁民事局第二課長、最高裁民事局第一課長兼第三課長、東京地裁判事、東京地裁部総括判事、東京高裁事務局長、最高裁民事局長兼行政局長、前橋地裁所長、東京高裁部総括判事、最高裁主席調査官、仙台

高裁長官、東京高裁長官を歴任後、平成十六年から二十一年まで最高裁判事に就任されました。

最高裁判事を定年退官後は、第一東京弁護士会登録、TMI総合法律事務所顧問に就かれる一方、東北大学法科大学院客員教授として学生の指導にも充たられています。

今井氏は、歌中在校当時はクラブ活動では演劇部、弁論部などに所属し、学芸会や弁論大会でも大いに活躍されました。

同氏には歌中六回生のこれまでのクラス会（三年G組）や同期会には、必ずといって良いほど出席して頂いています。

（伊藤 宏 記）



同窓会開催報告

◆平成二十二年同窓会

設立六十周年記念総会

同窓会設立六十周年記念の年に当たる今年の同窓会総会は舞子ピラあじさいホールで、十月十一日(祝日)に開催された。

例年総会には、母校吹奏楽部員が出演し、演奏や合唱で出席者の耳を楽しませてくれているが、今年はそのに加え、六十周年記念イベントとしてスライド・ショー「歌中今昔物語」が上映されることになった。これは、二十一回生が提案し、自ら制作にあたったもので、昔の母校の校舎やまわりの風景、学校生活のようすなどを現在のそれと対比させながら、紹介する内容であった。二十一回生が何度も母校に足を運んで制作した労作であるだけに内容が豊富で、見応えがあり、総会出席者一同遠く過ぎ去った中学時代のことを懐かしく、思い起こしたのではないかと思う。

約二十分間のスライドショーの後、今年には吹奏楽部員全員(八十二名)が参加して、演奏と歌と踊りを披露し、記念総会に花を添えてくれたのはうれしかった。引き続き行われた総会は今年も母校

卒業生松岡裕美さん(四十二回生)の司会で進められ、滞りなく終了した。総会の議事次第は以下の通りであった。

- ・物故者に対する黙祷
- ・濱田会長挨拶
- ・来賓紹介とご挨拶
- ・(阪田母校校長、天野PTA会長)
- ・同窓会活動報告(濱田会長)
- ・会計報告と会計監査報告
- ・(神部財務委員会委員長、酒井監事)

記念品贈呈(濱田会長から阪田校長に) 午後の会食パーティは会場を六甲の間に移して開催され、司会は総会実行委員会メンバー(十回生)が交代で担当した。今年度のパーティ参加者は来賓九名を含め、昨年並みの総勢八十八名であった。

司会による開会挨拶の後、恩師杉田哲先生から来賓を代表してのご挨拶を戴き、続いて竹中同窓会前会長(一回生)のご発声で乾杯を行って会食・歓談に入った。会食中司会者の指名で、出席者(恩師西村澄代先生、三回生原田盈さん、十三回生西崎毅名簿委員会委員長、十七回生藤本純子広報委員会委員長、濱田会長)が次々と壇上に上がり、近況や同窓会の活動状況を紹介するとともに、出席者に同窓会活動への協力を要請した。

その後、回生毎に壇上に並んで記念写真を撮った。今年は例年行っているビン

ゴゲームのようなアトラクションは実施されなかったが、テーブル毎の、あるいはテーブル(回生)を越えての会話が弾み、パーティの二時間余りはアツという間に過ぎ去った。最後は全員で校歌を斉唱してお開きとなった。

◆十七回生 還暦を迎える

卒業四十周年記念同期会以来、私達十七回生は還暦を迎える事が気になり、久しぶりに集まりました。東京から四十五年ぶりの顔ぶれ、なつかしくもあり、今さら気ははずかしい自己紹介、おどろく変貌に納得や笑いで、ビンゴも楽しく、中学生気分に戻るひとときでした。



2010年11月27日 吉兵衛にて

◆「アラ古希」に逢着して
卒業五十五周年記念同期会報告

六回生 伊藤 宏

六回生卒業五十五周年記念同期会は、母校同窓会設立六十周年記念総会に合わせて、平成二十二年十月十一日(月)、同期生三十九名出席のもと、舞子ピラ「六甲の間」で開催された。

平成十七年十月に、同じ舞子ピラで、卒業後初めてとなった同期会(恩師二名、同期生七十二名出席)以来五年ぶりの集いである。年令も満七〇才の節目に逢着したことから、「古希記念」とも銘打つての同期会であった。

同期会に先だち、出席者は全員隣の「あじさいホール」で行われた記念総会に参



今井功氏 乾杯のあいさつ

加し、アトラクシヨンのスライドショー「歌中今昔物語」の上映と母校吹奏楽部の演奏を鑑賞後、パーティーに移った。



杉田哲先生 スピーチ

して黙祷を捧げた後、今井功君(前最高裁判事)が開会の挨拶、同君の音頭で乾杯を行い、祝宴に入った。六つのテーブルに分かれて歓談がすすむ中、ステージやテーブルでは次々とスピーチが披露された。

遠来組では伊達愛子さん(神奈川)、長屋幸子さん(岐阜)、今井君(東京)が、近場組では春田多美子さん(三木市)、宮崎正巳君(明石市)、飯田正君(西区)、上田和俊君(垂水区)がマイクを手にしてくれた。このほか鴨原房子さんからC組の皆さんには、余興として「C組応援歌」(徳田和夫先生作詞・作曲)をクインテットで歌って頂いた。

また、この日総会に臨席された杉田哲

パーティーは、集合写真撮影の後、伊藤の司会でスタートした。

まず始めに亡くなった恩師六名と同期生三十六名に対

先生、阪田俊晃校長、濱田豊機同窓会長が飛び入りでご来場、それぞれ祝辞とエールを頂いた。

この後クラスごとにステージが上がって記念撮影、校歌を斉唱後、山崎浩君が中締め挨拶を行い、盛会裡のうちに二時間半余りの会はお開きとなった。



卒業 55 周年記念同期会 平成 22 年 10 月 11 日 於 舞子ピラ神戸(六甲の間)



和みのテーブル



C組クインテット

このたびの同期会は、幹事の一人として、年齢的にもこれが仕納めとなるかと臨んだが、出席者からはこの先も続けろとの声が上がった。次回は私たちが「後期高齢者」の仲間入りをする概ね五年後、「喜寿」とか「卒業六十周年」などの節目を迎えたときに開くことになりそうである。

それでは六回生の皆さん、また逢うときまで、どうかお達者で！

◆ 十一回卒業五十周年記念

同窓会報告

濱田 記

平成二十二年十月十一日(月) 体育の日(祝)に、清々しい秋空の下、私たち十一回生は舞子ピラ・舞子の間にて卒業五十周年記念の同窓会を開催しました。

杉田哲先生、橋本博文先生、丸岡昭代先生のご臨席を賜り、三十八名の同期生が集まりました。十年前の四十周年記念以来の顔合わせでしたが、さすがに卒業後五十年の年月を経て、皆さん元気で若々しくも良いおじいさんおばさんになっていました。あじさいホールでの同窓会総会と母校生徒の吹奏楽の演奏を聴いた後、舞子の間での会食パーティの前に緑豊かな庭園に集まり記念写真を撮りました。

会食パーティでは飲み食いよりも懐かしい話に花が咲き、ジャンケンゲーム等を楽しみ、いつまでも和やかな、また、忘れられない時が流れました。ご臨席を賜った先生方には深く感謝しますと共に、これからも末永く健やかな日々を送られますように、そして、またの日の再会を願いました。

また、途中、母校阪田校長先生と藤本教頭先生の来訪を受け、お祝いのお言葉を賜り感謝でした。予定の二時間半はアツという間に過ぎてしまいました。その後、カラオケルームに場所を移し、思いっきり歌と美声を競い合いました。これもまた、にぎやかで楽しい時間でした。

今後は十年といわず、五年後の五十五周年で再会しようと言い合って帰途につきました。



卒業 50 周年記念同期会 平成 22 年 10 月 11 日
於 舞子ピラ神戸(舞子の間)

◆「同窓会設立六十周年記念総会」
のスライド制作に参加して

二十一回生 有志一同

歌敷山中学校同窓会設立六十周年記念総会が、去る十月十一日に舞子ビラで開催され、一回生から六十一回生までの二百名が参加されました。

私達二十一回生は、今年当番学年に当たっていたため、四月から月一回の評議員会に出席して来ました。私達は、評議員会の中では若い方にあたり、始めは出席しても何が何やらわからないような感じでした。でも、何回か出席しているうちに、評議員会の様子などもわかってきました。

「今年の六十周年記念総会で、記念イベントに何をするか」という話し合いになり、講演会とかいろいろの意見が出ていました。そんななかで、二十一回生で相談した結果、パソコンで映像によるスライドが作れることが分かり、「過去の歌中と現在の歌中の対比のスライドを制作したらどうか」と提案いたしました。

その結果、諸先輩の評議員の方々も賛成してくださり、私達がスライドを制作することになりました。

私達は、歌中に何回か足を運び、どのような内容にするか話し合い、過去の卒

業アルバムを見せていただいたり、現在の歌中の写真を撮ったりして、作り上げていきました。

このスライドができたのは、パソコンに詳しいMiさんの力が大きかったです。また、歌中近くのMoさん、Nさんも何度も足を運び、協力して下さいました。できあがった映像に音楽をつけ、ナレーション(案)を入れてくれたのもMiさんです。ナレーションの最終版はKさんのご主人(この方も二十一回生です)が担当してくれました。何度も何度も練習して入れてくれました。二十一回生の有志で力を合わせて、この「歌中今昔物語」が完成した、と思います。

…古い木造の校舎、昔の運動会のように、昔の野球部のユニフォーム姿、修学旅行のようす、まだ若木だった校庭の桜の木。昔の舞子公園や歌中のまわりの風景…

できあがった映像を観て、懐かしさで涙がこぼれそうでした。

そして、現在の堂々たる歌中の校舎、立派に大きく育った校庭の桜の木、周りの風景、新幹線で東京デイズニールランドへ行っている修学旅行でのホテルのようす。また、例年歌中のグラウンドで開催される地域の人々とのグラウンドゴルフの交流のようす、今年の入学式のようす、を

観るにつけ、時の流れを実感します。十五歳で中学を卒業してからの年月を感じました。

この記念総会の行事に、参加させていただくことができて、また、この二十一回生の有志のメンバーでスライドを制作することができて、本当によかったと思います。私達に担当させて下さって感謝しています。



卒業 40 周年記念同期会 平成 22 年 10 月 11 日 於 舞子ビラ神戸

◆七回生古希記念同窓会報告

七回生 長谷川一好

平成二十二年十月二十四日に舞子ピラにて開催しました。古希といえども髪にちよつと白いものが混じった程度で、まだまだ若い面々が集まりました。男性二十四名女性二十四名恩師二名（橋本博文先生と杉田哲先生）です。七回生は六クラスあり、全員で三百五十名が卒業しました。近ごろは名簿から名が消える人が増え、寂しく残念に思っています。

七十歳は古来より稀とか言いますが、現在ではそれほど感激も無く、八十歳、九十歳の方がたくさん元気で生活されています。それこそ百歳の人を稀に見るような時代になりました。しかしこのような人生の節目に同級生が集まり旧交を温め合うのは良いことで、これからの人生に生甲斐と刺激と彩を与えてくれます。

在校時は石ころだらけの運動場の片隅に谷がありその中には小さいながらも自然の池があり、暇さえあれば池のほとりでクラス全員が集まり色んな歌を合唱しました。その時唄った歌が、今、地域の集まりや懐かしい友と出会った時の心和

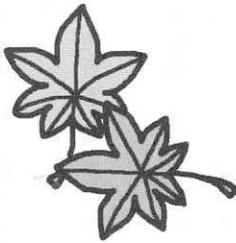
ませる歌になっています。

また、当時授業中の窓から舞子の松原越しに行き交う舟や淡路島を先生も一緒になってぼんやり眺めたものです。今では世界一の明石海峡大橋が見えることでしょうか。（どうでしょうか？）

古希記念同窓会ではこんな想い出や近況を語り合い、自分はまだまだ若いと競い合いながら楽しい時間を過ごしました。

七回生は三十五歳になった時に開催した同期会をきっかけに、五年ごとに休むことなく同期会を開き、その間は、毎年舞子ピラで新年会を開いています。いつも多くの仲間が参加します。このように七十になっても兄弟のような関係がまだまだ続いています。

歌敷山中学校七回生、バンザイ！



7回生古希同期会 平成22年10月24日 於 舞子ピラ神戸

◆二十七回卒業二十五周年記念

同期会

二〇一一年二月十三日、日曜日の正午、私たち歌中二十七回生は三宮ニューミュンヘン大使館に於いて、再会と互いの健勝を祝って、高らかに杯を上げた。卒業後の年月の流れに、母校や旧友に想いを寄せる暇もなかった熟年の我々にも、多少の落ち着きやゆとりが訪れはじめたのか？総勢七十八名に加え、恩師八名の参加の、予想以上の盛会の宴を持つことが出来た。

五年前に、同窓会総会からのご尽力を受け、卒業三十周年の記念総会の開催の幸運に恵まれていた。それを契機に、音信が途絶えがちな仲間たちが、糸を手繰るように、誰からとも無く声を掛け合い、次の記念総会を待たずして、この集いを実現した。世代的には子育てを終え、職場では重責の立場にある者が多く、新任で赴任されていた嘗てのうら若き恩師は今年定年退職を迎えられていた。無限に広がる未来という名の大海原に対峙して、不安と希望に胸が張り裂けそうだった、歌中時代のあの頃の感覚が、今日は、心

地よく軽いビールの酔いの中で、遠く淡い、安らぎとなって、蘇った早春の午後のひとときであった。

それから一月後、東日本は最悪の惨事に見舞われた。

名刺や写真の事後整理の頃、十名程の関東方面からの参加者については無事の様子だった。科学技術の発展と経済成長の勢いの著しかった七〇年代前半、我々は名門歌中で平和に安泰に未来への懐疑もなく、青春時代を過ごした。なだらかに頻度の増す、昨今の同窓会たちとの心安らぐ交流の時間に、自分たちが求められている社会での立場と義務感の自覚の確立をも共有していきたいと思う。

次世代を担う、現在の歌中生たちの前に、もし人生の困難や社会の不条理が押し寄せた場合には、共に悩み、立ち向かい、その解決に、及ばずながらも、役立ちたいと思う。

平和で幸福な、明日の社会を共に構成する、仲間づくりの機会として、楽しく、懐かしい、そして時に刺激的で新しい、多くの歌中の同窓生たちとの再会と出会いを繰り返ししていきたいと願っている。



卒業 35 周年記念同期会 平成 23 年 2 月 13 日 於 三宮ニューミュンヘン大使館

同窓会活動報告

◆第六十三回体育会（参加報告）

二〇一〇年の体育会は九月十八日（土）、晴天のもと母校第一グラウンドで行われました。プログラム全二十の演技のうち、私たち同窓会は、午前の部の「みんなで踊ろうフォークダンス」と午後の部の「PTA・同窓会・来賓・職員演技」（玉入れ競技）に参加しました。フォークダンスは、グラウンドいっぱい幾重もの輪の中に入り、生徒たちと一緒に、マイムマインを踊りました。玉入れ競技は、特別参加の地域のこどもたちも交えて紅白合戦に興じました。

なお特別参加のこどもたちには、今回も同窓会が用意した「参加賞」（今年はディズニーキャラクターの文具セット）を供与し喜ばれました。

◆第六十三回文化発表会

― 作品展 ―（参加報告）

二〇一〇年の文化発表会は十月二十三日（土）、母校一号館（ステージの部）と五号館（展示の部）で行われました。私

たち同窓会は今回も展示の部のPTA・同窓会作品展に出品しました。同窓会からは毎回出品してくださるアーティストの方々の「新作」を中心に展示しました。

ここに、ことし出展にご協力頂いた方と作品を紹介しておきます。（敬称略、氏名後ろ〇数字は回生、（ ）は作品名です。）

豊滋夫④（油彩「垂水漁港」、遠藤忠良⑤（水彩「冬の小樽運河」「アッシジの坂道」「ストックホルム旧市街」、花田春洋⑪（アクリル「ノスタルジー」「街」、藤村洋子⑥（刺繍「エーデルワイス」「薔薇」、豊庸夫⑥（バードカーヴィング「アナホリフクロウ」「オシドリ」、岸波千恵⑥（グラスアート「迎春」、ドライ&ブリザーブドフラワー「ハローウイン」、東後吉彦⑤（船舶模型「スローモーションⅣ」「チバスター」、濱田豊機①（名品）出展「蘇州刺繍」）の皆さんです。

なお、当日は一号館調理教室恒例の模擬店「カフェうたしき」に、ことしも同窓会から



お茶菓子詰め合わせを差し入れ喜ばれました。

◆母校・PTA・同窓会三者懇談会

三者懇談会は二十数年前に竹中前会長の発案で始められた。同窓会が主催し、母校・PTA・同窓会間の親睦と意思疎通を図ることを目的として、年に一回開催されている。

今年度の三者懇談会は二〇一一年六月七日（火）十八時三十分から垂水センター街にある喫茶「ブラジル」で開催された。母校からは阪田校長、本年四月に着任された齋藤教頭、柳瀬先生（教務担当）の三名、PTAからは、天野会長と副会長三名、同窓会側からは濱田会長をはじめ五名が参加した。濱田会長の開会挨拶に続いて、出席メンバーによる自己紹介が行われ、その後、母校・PTA・同窓会それぞれが近況・活動報告を行った。母校からは現在の生徒数とクラス数、最新の部活動成績等についての報告があり、PTAからは「地区内十一中学の会長校を努めている」こと等の報告があった。同窓会からは配布資料に基づいて、活動状況が報告された。会の後半は食事をと

もにしながら、和やかに意見交換を行い、昔の校舎やグラウンドの様子等についての思い出話で盛り上がった。

最後に、阪田校長からご挨拶をいただき、閉会となった。

◆歌中ふれあい懇話会

二〇一一年六月二十八日(火)午後
第一回のふれあい懇話会が母校にて開催された。これは、母校を中心として、地域における生徒の生活を見守り、母校の発展・活性化を目的として、関係者(母校職員、P.T.A・保護者、霞が丘小学校職員、同P.T.A、東舞子小学校職員、同窓会代表等)からなる会議で、それぞれから活動状況報告、意見交換、勉強会等が行われている。

ふれあい懇話会の活動の一環として、ふれあいグラウンドゴルフ大会が母校グラウンドで開催される。

◆歌敷山中学校評議員会

二〇一一年六月二十八日(火)午後、第一回学校評議員会が母校校長室にて開催された。これは、母校校長が主催し、

母校の教育目標、取り組み方、学校運営等に関して、評議員より参考意見等を聞くもので、元大学教授、青少協役員、同窓会長、P.T.A会長等六名の委員からなる。

P.T.A会長より

P.T.A会長 天野 宏

「人の幸せとは何か？」よく考えることがあります。小さな幸せの積み重ねが、いつしか大きな幸せになっていくと思います。自分だけの幸せだけでなく、家族の幸せがあれば自分の幸せが倍增される。同じように家族以外に自分がかかわる周囲の人の幸せがあれば、自分の幸せも大きくなる。人とのかかわりで得られる幸せ(喜び)には、三つの幸せがあるといわれます。「してもらう喜び」、「できる喜び」、「させてもらう喜び」。親や周りの人に世話をしてもらう段階から、成長して学び、できなかつた事が自分でできるようになり、さらに自分以外の人のお世話をさせてもらうようになる。人間的な成長とともに喜びや幸せも大きなものになっていく。さて、自分はどうかと振り

返ってみると、人間的な成長はまだまだできていませんが、「させていただく喜び」を味わうことができ、その素晴らしさがようやくわかってきたように思えます。

P.T.A活動にかかわらせていただいたから、人と人とのつながりの大切さや地域活動の大切さに気付き、多くの人と知り合い、多く人の話を聞き、少しずつ自分の視野も広まり、良い勉強をさせていただいたと思います。一人の親として子どもとどのようにかかわるべきか、一人の人間として地域とどうにかかわるべきか、人の役に立つことの重要性などを勉強させていただきました。人に喜んでもらうことが自分の喜びにもつながりました。

「人間としての自己の存在を自覚し生きていたことの証しを残して生涯を終われ」

これは私の恩師の言葉です。私はまだまだ人に認められる「証し」を残せるところまでには程遠い状態です。やっと人生折り返し点までは来たかなという思い。これからも人と人とのつながりを大切にしたい。人の幸せを考え、そして自分が幸せであると思えるような生き方をしたいと思います。

歌敷山中学校同窓会

のホームページへようこそ！

【同窓会事務局】〒655-0037
神戸市垂水区歌敷山2丁目4-1
神戸市立歌敷山中学校内
TEL.(078)707-8864
E-mail: utachuu_dou@yahoo.co.jp



[11.08.08更新]

Contents

- ▶ 会長挨拶
- ▶ 同窓会規約
- ▶ 母校・同窓会の歩み
- ▶ 卒業生数
- ▶ H22年度役員
- ▶ H22年度予定
- ▶ H21年度決算報告
- ▶ 同窓会会報No.17
- ▶ 母校のHP

Topics

- 11/08/08“平成23年度同窓会総会のご案内
- 11/07/23 平成23年度三者懇談会(開催報告)
- 11/05/24 “歌敷山中学校同窓会ホームカミングデー”(開催報告)
- 11/04/18 62回生同窓会入会式のページを立ち上げました
- 11/03/12 “歌敷山中学校同窓会ホームカミングデー”(ご案内)
- 10/12/14 “平成22年度同窓会総会(設立60周年記念)”-開催報告-
- 10/12/14 “同窓会会報第17号”を立ち上げました
- 10/12/14 平成21年度決算報告のページを立ち上げました
- 10/10/19 “歌中生合言葉・生活信条プレート”および“亮天功石碑説明石板”の除幕式を挙行了しました

+++++
<お知らせ> [Topics] から外れた記事は [Contents]の中の[ARCHIVES]に保存してあります。

歌敷山中学校同窓会ホームカミングデイ — 開催報告 —

同窓会設立60周年の目玉行事のひとつとして、“同窓会ホームカミングデイ”を初めて開催しました。開催日は母校“サクラの学校開放日”に合わせ、4月3日(日)としましたが、サクラの開花が遅れ、二分咲き程度だった点は残念でした。

当日の会場は母校図書室で、藤本実行委員長(17回生)による開会挨拶に続いて濱田会長(11回生)と天野PTA会長から挨拶を頂き、ホームカミングデイがスタートしました。参加者にはお茶とお菓子がふるまわれ、昨年の総会の時に披露され、好評を博した21回生の力作“歌中今昔物語”が二度にわたって放映されました。

また、午後1時半から約1時間にわたって、グラウンドでは母校吹奏楽部によるブラスバンド演奏が行われ、近隣の方も多数参加されて、生徒達の演奏に耳を傾けました。

ホームカミングデイは午後3時に開会となり、閉会挨拶は東石氏(17回生)が行いました。

今回のホームカミングデイは初めてのケースであり、情報が十分行き渡らなかったためか、参加者は予想より少なめでしたが、おかげさまで無事終えることができ、うれしく思っております。特にPTA役員の皆さまには本当にお世話になりました。この場をお借りして、お礼申し上げます。 <藤本 記>



お茶とお菓子の接待

同窓生便り

* 歌敷山中学校を卒業して四十六年

東京大学副学長 松本 洋一郎

(第十六回卒業生)



一年生の時は五組で徳昭男先生が、二年生の時は一組で藤原勤先生が、三年生の時は三組で田中潤一先生が担任であった。クラブ活動ではサッカー部に所属しており、徳先生にはお世話になった。

歌中を一九六五年に卒業してから四十六年になる。その間、高等学校卒業後、東京に出たが、神戸に帰ることなく時間が経ってしまった。会報担当の藤本純子さんに何か書くよう依頼を受けて、何か参考になるものがないかと、母親が整理しておいてくれた古い資料を取り出してみた。その中に、「歌敷山」の卒業記念誌なるものがあつた。氏名、卒業後の予定住所などに加えて、将来への抱負が記載されており、自分の所には「研究所に入って研究したい」とある。当時、何を思っていたのかよく覚えていないが、研究者と呼ばれる職業に就いたことには間違いない。高校、大学と進み、

大学院を経て、そのまま企業を経験することなく、大学に教員として残り続けている。専門は機械工学であるから、技術者に近い研究者とも言える。技術者、エンジニアなどと書いた人と同じように思っていたのかもしれない。また、父親が企業の技術者であつたから、もう少し「理科」に近い職業として、研究者をイメージしていたのかも

しかなかったと思うが、技術者と書いている人もいる。それに比べて、案外「医者」は多くない。「世界一周旅行、ニューヨークに行きたい。フランスに行きたい」など海外志向もかなり強い。「社会のためにつくす」と書いた生徒もかなりの数に上る。時の世相を反映しているのであろう。

知らない。少なくとも科学技術に関連する仕事に就くだろうと漠然と感じていたように思う。同じクラスに「宇宙科学の研究をしたい」と書いている人がいた。今から思えば、これはかっこいい、私ももう少しかっこよく書いておけば良かった。そう思っページを繰るといろいろと出てくる。「歌敷山中学校校長：当時校長であつた丹羽泰行先生は生徒から慕われていたのだと思う」、「ピサの斜塔解体工事責任者：本当は修復工事が良かったか?」、「外交官希望：書いた人は女子生徒だが、もっと女性の活躍を期待したい」、「信頼される人間に! : 書いた人の人間性が良く表れています」、「超特急運転士を目指す：この人は今超高速鉄道の研究をしています」、「理工系へ進みたい：書いた方は女子生徒ですが、是非増えたい欲しいなと思つています」、「ユースホステル協会理事：学生の時の旅行でお世話になりました」などなど、詳しく統計は取っていないが、圧倒的に「技師、技術者」と書いている人が多い。女子生徒にも、当時は珍

当時は終戦二十年ほど、もはや戦後ではないと言われているから十年ほど経っており、欧米をお手本に追い付け追い越せと、必死に技術導入を行い、工業化を進めており、世界に誇るべき工業製品も散見されるようになっていたから、当然「技術者」志望が多かつたのであろう。また、お手本は欧米であり、その国々への憧れから、その地に行きたいとの思いも強かつたのであろう。もし、同様の卒業記念誌があると、その傾向が時代とともにどのように変わつていくか調べるのも面白いかも知れない。

その日本も今や、欧米と肩を並べ、世界のフロントランナーとなつた。従来の模倣や技術導入はもはや有効ではない。自ら新たな技術を開発していく必要がある。現代の日本は少子化、高齢化をはじめとして、資源、エネルギー、環境など様々な課題を抱えている。加えて、震災からの復興も大きな課題である。このような課題は、程度の差こそあれ、世界も同時に直面している課題であり、世界に先駆けてのそれら課題の解決を図っていく責務がある。またそれ

をやらないと他の国々の後塵を拝することになる。山積する課題を解決するには、科学や技術を活用したイノベーションが必須であり、それらへの期待も大きい。しかし現状はどうだろうか。失われた二十年と言われる経済的停滞、将来を託すべき学生・生徒の理科離れなど、先行きは必ずしも明るいとは言えない。イノベーション力は科学技術・工学人材の厚みと高い相関を示しており、日本が直面する課題を解決していくには「理科離れ」を立て直す必要がある。

理科好きであった団塊の世代の我々に、理科離れを立て直す出番があるのではないか。中学の時に「技術者」になる希望を持ち、企業の現場で技術を培ってきた我々が、初等中等教育の現場を手伝えないだろうか。身を以て体現してきた「理科」を生きた形で後輩に伝える、簡単なことではないが、その試みは各地で始まっている。是非、生徒の「理科離れ」を取り除き、「理科好き」に変え、日本に閉じ籠る彼らの目を世界に向ける活動に参加して欲しい。



同窓生便り 二

坂東道代(第十六回卒業生)

歌敷山中学校同窓会の皆様、こんにちは。昨年、ふとしたことから歌中の同窓会が色々な所で活動されていて、同窓生の皆様のご活躍を知りました。上京してから四十年余りになりますが、公私において、国内&海外の移動生活が長いいため、故郷の皆様と交流を持つ機会がありませんでした。

やっと、今回、その機会に巡りあい、そして、この様な同窓会便りの原稿を依頼され、光栄で嬉しく思っております。歌中時代の思い出は、団塊世代の時代ですから、兎に角、生徒の人数が多かったことが最も印象に残っています。確か、一クラス五十人以上で、一学年だけで六百人以上だったように思います。今の学生の人数からはちよつと想像がつかない位の大人数です。この人数ですから、イベント行事は何でも大変で、特に運動会の練習の苦痛は今でも記憶に残っています。生徒も苦しいですが、大人数を纏める先生方のご苦労はさぞかしだったとお察し致します。また、受験戦争時代ですから、いつも高校受験のことが頭から離れず、すぐに扁桃腺を腫らして熱を出していた私には、あまりのんびりできた中学生生活

ではありませんでした。ただ、環境が素晴らしく、校舎の窓から見える瀬戸内海、淡路島、大小の船の動き、青い空に、授業中でもつい窓に目がいついていたことを思い出します。

最近の活動ですが、元来、体を動かすことが好きなタイプで、四十代後半に、約三年間、階段を十一階まで歩いて昇り、最高十八階まで三カ月継続という記録を作りましたが、数年前に運動が出来ない体になり、長年の仕事をセーブして新たに多様なことに挑戦しています。そのひとつが、声楽です。夢にも思っていなかったことですが、五十代後半からオペラを習い始めてコンサートにも出場しています。大舞台でもマイクを使用しないオペラは、歌の中で最も「体力と気力」を要しますので、どこまでできるか人生における挑戦と受け止めています。

関東地区の同窓生との交流会を計画致しております。皆様のご連絡お待ち致しております。

e-mail: michiyo239@hotmail.com



◆ 同窓生近況報告 (平成 23 年 9 月 10 日現在)

1	第 7 代校長	細見英太郎	脚が不自由でリハビリ中です。ご盛会をお祈り申し上げます。
2	第 9 代校長	陸井 豊一	いつも、案内頂きありがとうございます。昨年 6 月心臓の手術を受けましたが、現在元気にやっています。ご参会の皆様によるしく。
3	第 10 代校長	坂本 繁	歌中での在任は校長としてたった 1 年間でしたが、私の人生にとっては実に大きな 1 年でした。今なつかしく思い出します。したがって総会にも出席したいのですが、すっかりふけこんでしまい、出不精の習慣がついてしまいました。ご盛会を心より祈ります。
4	第 13 代校長	安東 保	体調に気をつけながら毎日仕事(神戸第一高)に妻の介護にと頑張っている。ランニングは一時休んでいます。ぜひ再開したく思っています。当日は先約があり欠席しますが、ご盛会をお祈り致しております。
5	第 14 代校長	森本 和彦	何とか元気に過ごしております。ご盛会をお祈りいたします。
6	第 15 代校長	井上 光利	神戸市立青少年センターくすのき教室で専門指導員として、不登生たちと過ごしております。歌中同窓会の更なるご発展を願っております。今回は勝手ながら欠席させていただきます。
7	第 16 代校長	角 孝雄	ご案内ありがとうございます。ご盛会をお祈り致します。
8	第 17 代校長	岡本壽美雄	・ 38 年の教員生活を定年退職で終わって H 22. 4 / 1 より、長田区にある神戸市立片山児童館で嘱託館長をつとめています。子どもたちと関われる日々充実感を覚え、元気に日々を送っています。 ・ 歌敷山中学校同窓会のますますのご発展と、総会のご盛会を祈念いたします。 ※歌中で教員生活を締めくくれたこと、最高に思っています!!
9	恩 師	杉田 哲	私、今、神戸市陸上競技協会の会長をしています。ことしは、既に終了しましたが、ユニバー競技場で、“アジア大会”が、そしてこの秋、11月20日(日)には、初の“神戸マラソン”が行われます。神戸市役所をスタートして、舞子公園を折り返すのです。これらの運営に私も尽力しながら、歌敷山中学校での陸上競技をはじめ、多くの情景が浮かんできます。わが懐かしの“ああ、歌敷山”です。総会心からおめでとう!
10	恩 師	吉田 紙一	私用の為欠席させていただきます。盛会をお祈り致します。
11	恩 師	徳 昭男	当日は術後の定期検診で入院中となるため、参加できません。なつかしい皆さんおひとりおひとりのご活躍とお幸せを祈っております。また、当日の盛会を祈ります。
12	恩 師	打植 忠	ご盛会をお祈りいたします。
13	1 回生 A 組	川上 豊公	1 回生は喜寿を迎える年となりました。お陰さまで元気しております。参加は今回が最後?
14	1 回生 H 組	福永 繁子	在学中は初回のソフトボール部で活躍しており、石ころだらけのグラウンドで日々猛練習しておりました。そのお陰か 76 歳を過ぎても乗馬で楽しんでいます。
15	3 回生 A 組	永井 昭夫	「昨日出来たことは、今日も出来る」を生活のモットーとし、毎日を元気に過ごしています。
16	3 回生 B 組	吉岡昭一郎	入学時は馬小屋校舎で隣の教室の先生の声が聞こえるベニヤ板 1 枚の仕切り教室から、霞ヶ丘の新築校舎への感激。それが霞ヶ丘中学校。そして、校名変更で歌敷山中学へ。激動の時代を経て、卒業 60 周年を迎える喜びを噛みしめています。
17	3 回生 C 組	岩佐 利彦	空元気で頑張っていますが、最近は物忘れがひどくなりました。
18	3 回生 C 組	北川 豊	難病を患っている妻の介護のため予定が不履行になる為、欠席とさせていただきます。
19	3 回生 C 組	林 照夫	楽しみにしていましたが、今年は都合で欠席させていただきます。いつもお世話いただきありがとうございます。

20	3 回生 C 組	増田 嗣郎	出社は週2日にとどめ、ウェブ・サイトの充実に努力しています。一度のぞいてみて下さい。 http://www.gokanbunseki.com http://theory-gokanbunseki.com
21	3 回生 E 組	渡辺 貞範	震災の被害は受けましたが、元気しております。未だ後始末が続いております。盛会を祈ります。
22	3 回生 H 組	岡橋 啓二	来年の同期会には出席したいと思ってます。それまで何とか元気で生きていられれば、と楽しみにしています。病弱ですが、頑張ります。
23	3 回生 I 組	谷口 稔郎	種々事情有り欠席が続いておりましたが、今回は出席致しますので、よろしく願い申し上げます。
24	3 回生 K 組	吉川恵美子	コーラスと俳句で暮らしています。16日はコーラスフェスティバルの出演と重なり、出席できませんが、ご盛会をお祈りしています。
25	3 回生 L 組	原田 盈	3 回生は来年卒業 60 周年を迎え、歌中同窓会で初めての 60 周年記念同期会を来春に開催すべく幹事一同動いている。3 回生の同期会は 50 周年出席者 150 名、55 周年 78 名と多数集まってくれたが、同期会最後の 60 周年には 50 名位の人数で静かに語り合えたらと思っている。
26	3 回生 L 組	中村 義正	50 年やってきた専門家用絵具の世界も大きく変化し、新しい時代に入り、もう役目も終わったと感じています。回顧録でも思いますが、まだまだ現役、日本の美術界に努めます。
27	3 回生 M 組	小西 健智	高齢者大学で楽器を習ってデイサービスとか、各種集会でボランティア活動をしています。
28	3 回生 M 組	加藤 住子	役員の方達にはいつもお世話になりありがとうございます。スポーツクラブに通い、至って元気に過ごしています。(主に水泳と筋トレ)
29	4 回生 A 組	平田 英之	相変わらず歌中の 1 つ上の筋(霞ヶ丘 7 丁目)に住んでおります。最近では歌中の評価も上昇している様で何よりです。
30	4 回生 B 組	山上 俊夫	S35. 3 月迄関西で、それ以後北九州と東京に在住、現在は北九州に落ち着いています。長女一家は北九州市に、又次女一家は東京杉並区に在住。今年 (H23) の夏は久し振りに私共夫婦併せて 10 名全員が北九州の地に集合、楽しい一時を過ごすことができました。
31	4 回生 F 組	建石 太郎	近くに住む孫達と元気に過ごしております。
32	5 回生 A 組	後藤 陽子	震災後地番が変更しております。会下山町 3 丁目 26 → 3 丁目 5-1
33	5 回生 B 組	宮崎 芳江	何時もお世話になってます。今回も当方予定が入っていて出席することができませんが、ご盛会をお祈り致します。
34	6 回生 A 組	秋山 貞子	ご盛会をお祈りします。病院通いに忙しい毎日主人と仲良く通院しています。
35	6 回生 A 組	尾崎 茂子	昨秋の記念同期会(6 回生)には出席し、同期の方々とは色々楽しくお話する事が出来ました。また、部活を指導して下さいました杉田先生が少し肥られましたが、お元気そうで、嬉しく思いました。
36	6 回生 A 組	片山 齋	幹事の皆様お世話になります。今回は都合に依り欠席させていただきます。皆様によりよくお伝え下さい。
37	6 回生 B 組	小方 薫	毎日家庭の雑用におわれています。
38	6 回生 D 組	河本 典子	元気しておりますが、連日の猛暑にはへきえきとしています。
39	6 回生 E 組	伊達 愛子	さくらの学校開放はとても良い行事ですね。今は遠方で伺えませんが、そちら方面へ行った時はなつかしく校門のまわりを歩いたものです。歌敷山から山茶花の咲く路を上がって行ったのを覚えてます。

40	6 回生 G 組	大空美代子	昨年 8 月埼玉へ転居しましたので、出席しかねます。悪しからずお許し下さい。私事、最近では埼玉の生活にもすっかり慣れ、野菜づくりや趣味のコーラス、日本画に励んでおります。又、早朝ウォーキングをして主人共々健康に留意し、元気に暮らしております。同窓会の皆様方の御健康と御多幸を心よりお祈り致しております。
41	7 回生 A 組	小西 忠廣	当日は兵庫県吟詠連盟主催の「ふれあいの祭典」(尼崎アルカイックホール)の役員で出席の為、同窓会は欠席します。
42	7 回生 D 組	人見 進	定年退職後は真言宗のお寺に勤めて約 10 年経ちます。幹事の方、大変お世話さまです。
43	8 回生 C 組	御前 勝己	卒業半世紀余、故郷を離れ望郷の念はつのるばかり、近年は同期生との交流もむしろ深まり、同期会、同好会、クラス会と神戸へ足を運ぶ機会も随分増えました。とりわけ垂水、舞子は多感な少年期を過ごし、我を育んでくれた地でもあります。今は良くも悪くも余りにも変貌した周辺に驚かされますが、それでもそこかしこに当時の匂いが残っておりますので、母校の開放日等、四季折々の散策を楽しんでおります。同窓会は出席できませんが歌中同窓会の発展を祈ります。
44	8 回生 G 組	野田俊太郎	サラリーマンの日常が非日常となって 1 年余り、すっかり非日常が日常となりました。2 月には母を 93 歳で亡くしました。時代はゆっくりと変わっているようです。皆様の益々のご健勝を祈念しています。
45	9 回生 A 組	岡田真志美	トイレには自力で行けますが、歩行困難で家事はできません。送迎の有るデーケアに週 3 回通院中です。
46	9 回生 B 組	沼舘 廣彦	3 人目の孫が誕生しました。男の子です。一緒に飲めるかな? 現役で働いております。メタボになりました。
47	9 回生 C 組	山本 耕二	2~3 年前から患っていた「ヘルニア」が最悪の状態で、本年 2~7 月の間、入院生活を送りました。来年こそ出席出来れば、と思っております。
48	9 回生 C 組	吉田 基	返信が遅れ申し訳ありません。同窓会当日は、お寺の行事があり出席できません。同窓会の盛会をお祈りします。
49	9 回生 D 組	小野 雅史	当日は旅行中につき欠席致します。
50	9 回生 D 組	津田美智子	理事会、評議員会のお手伝いをしていますが、連絡がなかなか伝達出来ず、不便をしています。もし、どなたか変わって下さる方がおられたら、連絡をお待ちしています。大谷氏、吉田氏もお忙しそうです。よろしく願います。
51	9 回生 E 組	柏木彩太子	お世話様です。私はいたって元気に暮らしておりますが、98 歳の母の世話、重度身障の夫の世話をさせて頂いておりますので、今回は残念ですが、健身の我身に感謝しつつご盛会をお祈り申し上げます。
52	9 回生 F 組	大島 一美	今まで気にもかけなかった健康に気を使うような年代になってきました。一日一日を大切に過ごしたいと思います。
53	9 回生 G 組	大谷 和子	退職して 9 年がたちました。何とか元気に過ごしています。
54	10 回生 B 組	山本やす丞	元気にしています。同窓会幹事の方々ありがとうございます。
55	10 回生 C 組	吉田 昭二	今年から週 3 日程ウォーキングをしています。この暑い夏も用心しながら続けています。歩いて出かけた時などは少し楽な感じがします。皆さんも軽い運動をぜひ。
56	10 回生 D 組	吉川 彰	健康に留意しながら、週 4 日損害保険代理店のアルバイトを続け、休日には麻雀やカラオケを楽しみ、孫娘(3 歳)の相手にもなっています。
57	10 回生 F 組	藤原 敏弘	新聞のチラシで手下げ袋を作っています。近所に配って喜ばれています。

58	11 回生 A 組	植田 寿子	残暑お見舞い申し上げます。皆様いつもお世話になっております。元気しております。
59	11 回生 A 組	西垣 迪世	一人息子の過労死認定裁判のご支援をいただき、ありがとうございます。おかげさまで東京地裁にて3月25日勝訴判決があり、確定しました。息子は生きて還ってはいませんが、皆さまのお気持ちに感謝していると思います。若い人達が過労死することなく、健康に生き生きと働ける社会になりますようお願いしています。
60	11 回生 B 組	早川 洋樹	高校の同窓会と重なりましたので、失礼します。
61	11 回生 C 組	中村 和弘	東京地区の同窓会活動がようやく始動しました。16 回生の坂東道代様の協力を得て進めて参ります。皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。
62	11 回生 D 組	酒井 康夫	元気しております。週に2日仕事をし、孫2人の相手をし、ゴルフにカラオケ、又たまには料理をつくり、それなりに忙しくしております。
63	11 回生 D 組	長谷川弘正	昨年、腰の手術をしました。記念の年で参加すべく張り切っていましたが、残念でした。(今年は他用があり欠席させていただきます)
64	11 回生 D 組	北川千代子	今年は夏まつり(盆踊り大会)等踊る機会が多くあり、充実した年でした。でも少しつかれました。年々つかれがとれにくくなってきました。
65	11 回生 D 組	牧野千鶴子	毎日老人のお世話とボランティアでいろいろ走りまわっています。同窓会の次の日から東京ディズニーに遊びに行つて来ますので、今回は欠席します。
66	11 回生 D 組	山本寿美子	いつもお世話いただき、ありがとうございます。足腰痛いと言いつつながら、今のうちと海外、国内旅行に出かけております。当日は行事が重なり、出席できません。
67	11 回生 F 組	鈴木菜由美	東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。普通の事が普通に出来る生活に感謝しなければ、と思う今日この頃です。夫が貸し農園で作ってくれる無農薬野菜が食卓に彩りを添えてくれています。
68	11 回生 H 組	今岡 勝美	週2~3回卓球で汗を流しています。
69	11 回生 H 組	中井 峯生	元気です!!
70	11 回生 I 組	濱田 豊機	いろいろなボランティア活動をしながらか元気に過ごしています。
71	12 回生 A 組	高橋嘉代子	奈良秋篠寺の近くにて夫と二人のんびり暮らしております。皆様によろしくお伝え下さい。
72	12 回生 D 組	植垣 憲司	神の谷ふれあいまちづくり協議会の広報部長、コスモスクラブの副会長、マンドリン活動、自治会役員等多忙な毎日を送っています。
73	12 回生 F 組	本間 秀勝	本間秀勝の妻です。主人はH13.10.3に亡くなっています。もう亡くなって10年になります。お誘い頂きましたけれど申し訳ございません。名簿から除籍して下さい。皆様のお世話ご苦労様です。ありがとうございます。
74	12 回生 G 組	原田 昭	孫の誕生と地域の行事が重なるために欠席します。定年退職後は3年程嘱託として勤務し現在はリストマンとして週4日程アルバイトをしております。
75	12 回生 G 組	人見 道雄	退職して1年。年金生活で過ごしています。夏野菜作りと菊花の世話で毎日が忙しい一人生活です。
76	12 回生 H 組	廣松 毅	ご無沙汰しています。何とか元気にやっています。
77	13 回生 3 組	竹内 信子	残暑お見舞い申し上げます。同窓会案内を有難うございました。何時の日か懐かしい友に逢えるのを楽しみに日々仕事に励んで居ります。

78	13 回生 3 組	吉田 孝司	いつも連絡ありがとうございます！私は昨年 45 年間お世話になった巨人軍を退職し、今年からジャイアンツアカデミーで幼児から小学 6 年生迄の子供達に野球の指導をし頑張っています！
79	13 回生 5 組	石田 千晴	今年 3 月いっぱいまで働いていましたが、4 月より年金生活を送っています。
80	13 回生 5 組	遠藤 光子	いつもお世話頂き、有難うございます。来年に向けて、今年は参加させて頂かないと、と思っていたのですが…。10 月 15 日に次男が（結婚 10 年目にして）父親になれる予定の日で、その前後はあけておきたいと考えます。申し訳ございません。そして残念ですが、来年は必ずお目にかかりたいと存じます。
81	13 回生 6 組	宮里 宣哲	ご案内ありがとうございます。4 月から高齢者の仲間入りですが、おかげ様で仕事にゴルフに元気に頑張っております。参会の皆様によりしくお伝え下さい。
82	13 回生 8 組	長谷川俊夫	来年は卒業 50 周年という節目の年です。高齢者入りはしましたが、元気で公私共頑張っております。
83	13 回生 8 組	松尾 碩男	住所を移転しました。 新住所は 〒248-0025 鎌倉市七里が浜東 5 丁目 1-15
84	13 回生 9 組	西崎 毅	来年は 13 回生（とみの会）の卒業 50 周年記念同期会です。多くの方と顔を合わせるのを楽しみにしています。
85	14 回生 2 組	藤谷佐登子	私は藤谷佐登子の甥で藤谷雅弘と申します。叔母藤谷佐登子は昨年 12 月に永眠致しました事をご連絡申し上げます。
86	15 回生 8 組	木暮 育美	お陰様で元気にしています。卓球と俳句を楽しんでいます。当日は都合悪く欠席させて頂きます。連絡頂きましてありがとうございます。
87	15 回生 12 組	岡田 英男	今回は欠席させていただきますが、記念同期会にはぜひ出席を、と考えています。歌中、同窓会のますますの発展を！
88	15 回生 12 組	橋本千賀子	何かとお世話になり、ありがとうございます。今もパートで働いております。
89	15 回生 16 組	岩田 憲二	衰えゆく体力を実感してますが、毎日を悔いなく送りたいと思ってます。ご盛会をお祈り申し上げます。
90	17 回生 2 組	岡田 邦夫	還暦を過ぎましたが、まだ毎日会社勤めです。
91	17 回生 6 組	桑原 仁志	元気に頑張っています。あと 2～3 年はこのままで、その後神戸に帰ります。20 年以上歌中の近くにさえ行っていないので、どのように変わっているのでしょうかね。再会した時、顔と名前が分かる人がどれだけいるのやら…。
92	17 回生 7 組	伊藤 博	昨年 11 月還暦を迎えました。2009 年 4 月より第二の社会人生活に入り、28 年振りで営業の仕事に戻りました。8 年前に父が、4 年前に母が亡くなり、垂水へ帰るのは年に 1 回程度になりました。現在は神奈川県厚木市で元気に、休日ゴルフを家内と楽しんでいます。孫も 2 人になりました。
93	17 回生 12 組	泉 光多郎	昨年末定年を迎えましたが、再雇用で今までと同じように働いています。
94	18 回生 13 組	桜井須美夫	生まれつき自閉症の長男 36 才。二男の子（孫）2 人、小 3、小 2（女）みんなでがんばっています。すみお 60 才、正美 53 才（おかあさん）
95	22 回生 2 組	本 武路	現在、神戸市立雲雀丘小学校に勤務しております。当日、自然学校の引率のため、欠席いたします。皆様とお会いしたかったのですが、残念です。同窓会のご盛会を祈念しております。
96	22 回生 3 組	町 光子	（旧姓 尾長谷）返事が遅くなり、申し訳ありません。8 月 29 日に交通事故で、今ハビリ中です。日常生活はなんとか大丈夫です。地震の方は被害はありませんが、毎日まだゆれてます。楽しみは長男が映画スタッフなので、上映されたら観に行くのが夫婦の楽しみです。皆様どうぞお元気で。

97	22 回生 3 組	横山 一成	耐久レースが趣味となっており、今年は佐渡島トライアスロン 16 回目の完走と、河口湖マラソン 28 年連続完走を目指しています。
98	22 回生 5 組	小出 宣正	剣道六段に挑戦して 15 年、中々合格しません。皆さんお元気ですか？
99	22 回生 5 組	中泉 宏	昭和 46 年 3 月 15 日が私たちの卒業式の日でした。あれから 40 年。いつの間にか定年まであと 5 年という今年。みなさんに会えることをたのしみにしています。
100	22 回生 5 組	真鍋 正幸	一昨年から千葉県市原市で単身赴任生活を送っています。来年には神戸に帰れそうです。また皆さんと会える日を楽しみにしています。
101	22 回生 8 組	植田佳世子	子育てを終えてから、大学院で学び直して現在は大学の企画・広報室で働いています。当日は仕事で出席できませんが、ご盛會を心よりお祈り申し上げます。
101	23 回生 6 組	請川 洋子	〒 651-2243 神戸市西区井吹台西町 3-27-8 橋本洋子に変わっています。
102	23 回生 8 組	武田 好子	H7/1 月～住所変更 長田区寺池町 1 丁目 13-1
103	23 回生 9 組	近藤 栄子	結婚後約 28 年間、玉津インター近くで日本料理“花ふじ” (☎ 924-0888) を経営しております。近くに来られた時は是非立ち寄って下さい。
104	27 回生 5 組	下村 勝哉	剣道部の御活躍を祈念しております。
105	29 回生 11 組	作 和憲	来年 50 才です。
106	32 回生 3 組	平川 由美	主人、大学 2 回生の息子と、来年高校受験の中学 3 年の娘の 4 人家族です。
107	32 回生 6 組	小田川育郎	会社転勤で北海道にいます (大丸百貨店札幌支店)
108	32 回生 7 組	大畑 真剛	〒 651-2112 神戸市西区大津和 2-6-23 に現在住んでいます。出席したかったのですが、所用があり欠席させていただきます。
109	32 回生 9 組	上野 宏治	卒業して 30 年が過ぎました。今でも「聞こう 話そう 考えよう」を基本に生きています。
110	33 回生 4 組	浜崎 雅仁	現在北海道石狩の方で薬剤師をしております。単身赴任です。高校生と中学生の息子がいます。
111	33 回生 4 組	光宗 重仁	返信が遅れて申し訳ありません。私 (妹 歌中 35 回生卒です。光宗千佳子) の兄・重仁は、平成 16 年 4 月 11 日に亡くなりました。今は舞子墓園より大好きな舞子の景色を見ていると思います。
112	33 回生 5 組	美濃部道和	卒業して 29 年になるのですね。皆さんお元気でしょうか？
113	33 回生 9 組	大山 貴美	住所、名前変更になってます。 〒 652-0832 神戸市兵庫区鍛冶屋町 2-1-6-503 五百蔵貴美 結婚して元気に過ごしています。
114	43 回生 1 組	吉川 雅博	15 年程前から奄美大島に移住しております。 〒 894-0505 鹿児島県奄美市笠利町平 1860
115	43 回生 5 組	谷 和幸	平成 7 年 3 月 26 日交通事故で永眠致しました。在学中はお世話になりました。有難うございました。
116	53 回生 4 組	菊地 元樹	転職しました。来年から香料会社に勤めます。
117	62 回生 4 組	冬木 雅樹	申し訳ございません。現在岡山県の高等学校で学校生活を満喫しております。
118	62 回生 4 組	池野 梨那	今は北海道で高校生活を送っています。寮で大変ですが、これからも将来の夢のためにがんばっていきます。
119	62 回生 5 組	高橋 愛海	1 人六甲アイランド高校に進学し、友達も作れて楽しく過ごしています!!!!

歌敷山中学校同窓会役員一覧

(平成23年10月16日現在)

本部役員

会長

濱田 豊機 (11回生)

☎ (〇七八) 七〇九一五二八八

副会長

藤井 英明 (11回生)

☎ (〇七八) 七〇九一四二二八

副会長 (東京地区代表)

中村 和弘 (11回生)

☎ (〇四八) 五四二一八三〇

事務局長 (理事)

藪 忠司 (8回生)

☎ (〇九〇) 八七九九一六八二七

名簿委員会委員長 (理事)

西崎 毅 (13回生)

☎ (〇七八) 九九二一四六一

名簿委員会委員

遠藤 牧子 (13回生)

☎ (〇七八) 九六三一六八五八

名簿委員会委員

谷口 健夫 (13回生)

☎ (〇七八) 七八三三三九二二

財務委員会委員長 (理事)

神部 元成 (5回生)

☎ (〇七八) 七九一八四〇八

財務委員会委員 (理事)

辰巳 順子 (15回生)

☎ (〇七八) 七〇八一七〇八二

財務委員会委員

徳永ソノ子 (15回生)

☎ (〇七八) 七五三一二五九二

プロジェクト委員会委員長 (理事)

伊藤 宏 (6回生)

☎ (〇七八) 七〇七一八五六〇

プロジェクト委員会委員

佐伯 省一 (26回生)

☎ (〇七八) 七〇六一五六五九

プロジェクト委員会委員

酒井 丈子 (26回生)

☎ (〇七八) 七八一一二八九九

広報委員会委員長 (理事)

藤本 純子 (17回生)

☎ (〇七八) 七〇七一三六〇一

広報委員会委員

原 正行 (17回生)

☎ (〇七八) 九六一一八二一四

監事

原田 盈 (3回生)

☎ (〇七八) 七〇六一〇七三三

酒井 康夫 (11回生)

☎ (〇七八) 七〇九一三七七〇

同窓会担当母校教頭

(事務局副委員長)

齋藤 公譽

☎ (〇七八) 七〇七八八六四 (母校)

相談役

母校校長

阪田 俊晃

前会長

竹中 義明 (1回生)

前財務委員長

岡本 正幸 (2回生)

前名簿委員長

吉岡昭一郎 (3回生)

評議員

1回生 竹中 義明

2回生 岡本 正幸

3回生 原田 盈

4回生 吉岡昭一郎

5回生 塩崎 武

6回生 神部 元成

7回生 原田 良彦

8回生 伊藤 宏

9回生 春田多美子

10回生 林 佐名哉

11回生 梅田 昭男

森 吉正

藪 忠司

大谷 靖彦

津田美智子

泉 一誠

戎谷 一機

西谷 智美

山下 和代

濱田 豊機

木下 トミ

永井 昭夫

中村 正義

長野 斉

日置 直美

角南富美子

黒島 陸枝

曾谷 全博

田中 義和

小寺 健

吉田 基

立花 宏昭

吉川 彰

花田 春洋

谷口 忠三

中村 和弘

各委員会からのお知らせ

1 賛助金、支援金で協力の御礼

(事務局、財務委員会)

本年度も総会開催に当たりご協力をお願いしましたところ、多数の会員の皆様から深く感謝と御礼を申し上げます。同窓会への皆様の厚い気持ちを大切に、有効に活用させていただきたいと思っております。

2 来年度総会予定について (事務局)

来年度(平成二十四年度)総会は、舞子ピラにて平成二十四年十月二十七日(土)を予定しています。学年記念総会と併せて多数のご参加をお待ちしています。

(記念同期会)

三回生(六十周年)

十三回生(五十周年)

二十三回生(四十周年)

3 同期会への助成金について

同窓会活動を活性化することを目的として、各学年主催の「同期会」を開催する時には、一定の要件を満たすことを条件に、同窓会本部より三万円の助成金が出ます。詳細については同窓会事務局(T E L 〇九〇一八七九九一六八二七)にお問い合わせ下さい。

トライやる・ウィークについて

(御協力お願い)

ご承知の通り母校でも毎年「トライやる・ウィーク」活動を実施しております。次代を担う若者に実社会への体験の場を通じ、健全な成長と働くことの意義を醸成する機会となっております。平成二十三年度は十一月七日～十一日に実施される予定です。こうした「体験の場」を同窓会としても支援していきたいと、提供していただける方、可能性のある方は気軽に後記の方へご連絡、お問い合わせください。

今までご紹介いただいた体験の場

(幼稚園・保育園・小学校・商店・病院・動物病院・旅行社 他)

連絡先

歌敷山中学校「トライやる・ウィーク」

推進委員会

担当：道田 佳子先生

T E L 〇七八一七〇七一八八六四

F A X 〇七八一七〇七一八八六五

●賛助金・支援金のお祝い●

振込先 郵便振替 1口2,000円以上
口座記号・番号 00970-6-187019
加入者名 歌敷山中学校同窓会
お振込いただいた方には会報をお届けします。

●お 願 い●

同窓生の皆さん:いつもご協力ありがとうございます。より多くの参加型の会報をと願っております。情報をお待ちしております。

〒655-0037
垂水区歌敷山3-1-10
TEL 707-3601
17回生 藤本 純子



「さくら」がきれいです！！

歌敷山中学校の「さくら」を見に来ませんか ～平成24年度「さくら」の学校開放～



春の学校開放について

母校では毎春、桜の季節に学校開放が行われており平成23年度は4月2日・3日にかけて実施されました。来年度も行われるようですので日程を確認されお誘い合わせの上お出かけいただければと思います。

(昨年度の会報に写真等概要を掲載しております)



〈日時〉

平成24年 3月31日(土)・4月1日(日)
9:00～16:00



サクラの学校開放に合わせて
「ホームcomingデー」を開催予定



同窓会では来年3月31日(土)、4月1日(日)のサクラの学校開放に合わせて「ホームcomingデー」の開催を4月1日(日)に予定しています。ホームページ、新聞広告等で改めてご案内致しますので、ご期待下さい。

歌敷山中学校同窓会会報

第十八号(平成二十三年十月十六日号)

平成二十三年十月十六日発行

〒六五五-〇〇三七

神戸市垂水区歌敷山二丁目四十一

(神戸市立歌敷山中学校内)

歌敷山中学校同窓会

TEL(〇七八)七〇七-八八六四

編集 会報広報委員会
印刷 (有)新和プリント

